

第二回安平町早来中学校の再建に関する合同学校運営協議会 検討部会 要旨

開催日時：令和元年 7 月 22 日 18：30～20：30

<基本計画目次について>

事務局：今まで検討してきた課題やアイデアをまとめて、基本計画を作成する。今後の検討会の意見も基本計画へ反映していく。基本計画は基本設計の基となる案としていきたい。内容の追加や検討が必要な内容があれば、意見をいただきたい。

会長：会の途中でも、何かあれば意見をいただきたい。

<施設計画の目標についての意見>

事務局：施設計画の目標はどのような施設を整備していくかの目標である。

委員：目標案に対しては近年の学校に必要な内容は網羅されているように感じる。ただ、表現が抽象的で意見しづらい。

会長：項目ごとに意見を求めます。環境についての意見はありますか？

事務局：誇りを感じられる校舎を考えると物や思い出・歴史等、残したい・大事にしたいものがあれば意見をいただきたい。施設計画の目標は、設計者へ安平町、早来地区の文化や歴史、大事にしていきたいものを伝えるためのものでもある。設計者の手掛かりになるので、意見をいただきたい。

委員：中学校 2 年の時に早来中学校新校舎に入った。新しい校舎だったので、思い出というより新しい学校で過ごせたという事が大きい。

委員：いこいの庭は同窓会で整備した。

会長：地域利用について意見をもらう前に、現状どのような活動がされているのか説明を。

事務局：体育館をバレー・バスケット・一輪車等の体育団体に貸している。

委員：学校の図書館を地域で利用できるようになるが、公民館の図書館がなくなるのか？

事務局：公民館は耐震化されていない。施設マネジメントとして検討していく必要がある。

委員：図書室は昼間も開放するのか？

事務局：セキュリティや運営面での検討が必要であるが、昼間も開館する予定である。

会長：教室や学習スペースについて意見はありますか？

事務局：検討部会の前に、教職員から学習環境については意見をもらった。地域利用について、学習することを第一に考えることを前提にするという意見があった。

委員：防災面、避難について「施設計画の目標」に提示されないのか？

事務局：施設計画とは分けて、防災・避難を入れている。

会長：「施設計画の目標」に入れた方が、設計に反映されやすそうなので、示した方がよい。

事務局：防災・避難は「施設計画の目標」に示すこととする。

<室・面積構成について>

事務局：地域利用での関わりが多いのは学校図書館・多目的ホール・カフェ・特別教室・和室・アリーナ・災害備蓄庫である。次の項目である配置・平面計画と共に議論する。

<配置・平面計画について>

□各案の主な特徴

A案：平屋・地域利用ゾーンが北側、教室ゾーンが南側で背中合わせになっている

B案：2階建て・大アリーナが奥

C案：2階建て・地域利用ゾーンと教室ゾーンが分かれている

D案：3階建て・地域利用ゾーンと教室ゾーンが階層で分かれている・駐車場が確保できる

事務局：どの案に決めるかではなく、検討を進めるための案である。気になる点や改善した方がよい点があれば、意見をもらいたい。

委員：平屋のメリット・デメリットを説明してほしい。平屋はほかの子どもたちが移動したりして学習に集中できないのではないか。

事務局：平屋のメリットは、階段がないのでバリアフリーである。横長のため移動距離に関しては課題である。

委員：グラウンドの環境が良くない。トラックと野球場が重なっている。

事務局：野球場やトラックの向き等を変える等、検討をする必要がある。利用については現状で早来中学校野球部が4人で、追分中学校と合同で練習しないと成立していない。使い勝手とは別に小中と練習なども考えられる。児童生徒数の推移などを基に検討をしていく。

委員：陸上も少ないが、砲丸や長距離、幅跳びなどを個人で練習している。陸上環境も整えてほしい。

事務局：この敷地の中で、重なりを最小限にして整備をしていく。ときわ球場は復旧するので、部活や少年団の活動拠点についても検討が必要だ。

委員：教科センター方式は中学校のホームルーム教室がないのか。

事務局：例えば、国語の教室が1-Aのホームルームだったり、数学が2-Aのホームルームだったりという考え方である。帰属性のある空間としてはホームベースが考えられる。教科教室とすることで、異学年にも学習や活動の成果がわかることと、教科指導の充実のために教職員が教材を用意できることもメリットである。学ぶ意欲を高めることを目指し、教科の魅力を伝える環境を整えることを目指す。

会長：小学校・中学校の運営が変わることで、意識の切り替わりにもなって良いのではないか。

委員：教室が100㎡で2クラスは狭いのではないか。

事務局：児童生徒数を考慮すると、約40人を20人前後で2クラスになると想定している。

会長：テニスコートの位置（道路側と山側）について意見はありますか？

委員：中学校はソフトテニスなので、道路側にテニスコートとすることは、ボールが道路に出ると危ないので、フェンスを高くするなど対策が必要。

委員：教職員住宅、トイレは既存のまま利用するのか。駐車場の面積はもっと必要ではないか。そうすると、駐車場は仮設校舎前として、グラウンドなどに活用したほうが良いのではないか。

会 長：アリーナ位置について意見はありますか？

事務局：新しい学校を考える会では、道路側は地域利用がしやすい、山側は防災面でグラウンドと連携しやすい、大きい建物が奥になれば学校の活動が道路から見やすい等の意見があった。

委 員：バスの乗り降はどう考えているのか確認したい。親の送迎の車もどこまで入れるのか教えてほしい。除雪場が分からないが、どこに想定しているのか。

事務局：スクールバスの乗降についてはアプローチ広場やバスロータリーを利用して行う。送迎についても駐車場位置などと検討していく。駐車場の除雪帯を基本計画に示し、設計者に伝えるものとしたい。屋根に雪を残すのか、落とすのか等も除雪の検討課題である。

委 員：地域開放が学校と明確に分かれていることと、地域開放が道路側で分かりやすいゾーニングがよい。

＜避難拠点の考え方＞

事務局：新しい学校を考える会で出た意見は、大きな体育館の中でプライバシーを確保すること（授乳・更衣・ペットを連れてくるなど）が課題に上がった。

委 員：早来地区の避難所のメインは町民センターと早来小学校となるのか。

事務局：震災の状況よるが、学校の早期再開を目指すとは長期の滞在はできないので、町民センターがメインとなる。一時的な避難所として震災直後の避難を想定している。

＜その他＞

委 員：アプローチが現状と違う、信号の位置は移転されるのか

事務局：増設は難しいが、移動はできるので、アプローチが決まり次第、検討していく。

委 員：事業の全体スケジュールを確認したい。

事務局：書面で提示する。9月の議会までに基本計画を完了、3月の議会までに基本設計が完了とする。

委 員：補助金の割合が学校をどう整備するかによって変わるという話があったので、知りたい。

事務局：基本計画の段階では出せないが、基本設計となれば具体的な数字で示せる。

委 員：いつまで検討会を行うのか、早来地区の学校なので他の地区は関係ないのではないか。

事務局：安平・遠浅地区の子どもは早来中学校に進学するので、関わる地域に声をかけた。8月末には、この会では建設の意見が滞ってしまうので議論しないが、別に会を設け、学校選択制についても検討していく予定である。

＜次回日程＞

- ・安平町早来中学校の再建に関する合同学校運営協議会

日時：9月3日（火）18：30～20：00

→パブリックコメントを受け、全体会として基本計画の最終審議を行う。

→最終的な基本計画は検討部会には郵送、HPの掲載などを行い、報告とする。

- ・新しい学校を考える会 7月30日（火）